

フィクションとしての親族

ムンバイにおける「流動的な核家族ユニット」と世帯運営

田口陽子（一橋大学）

生殖技術の発展や多様な婚姻制度の拡大やグローバルなケア労働の再配置は、人類学における親族論を再活性化させてきた。「親族とは何か」という問いがより根本的に揺さぶられるとともに、親族関係を成り立たせているフィクションが切実な問題として立ち現れてきた [Carsten 2000; Vora 2015]。たとえば体外受精や代理母を扱った研究は、親族関係が拡張される局面で「親子」を画定するさいに、物語の作成が争点となることを示している。具体的には、卵子や精子の提供者、代理母、依頼者といった複数の潜在的な「親」が権利を争う場合、著作権の論理を用いて、「子」を作ることを思いついた依頼者に親権が認められたというケースが挙げられる [Strathern 2005]。ここにおいては、生物学的な（真の）親族関係の比喻として（偽の）「擬制親族 (fictive kinship)」があるというよりは、フィクションをもとに現実が作られているといえるだろう。だとすると、さまざまな技術的・社会的な制約のなかで、どのようにある特定の物語が語られ、実行されるのだろうか？そしてまた、そうした物語からどのように現実が生成されていくのだろうか？

フィクションは、新しい科学技術が作り出す現実を把握可能なものにするためにも、また新たによりよい現実を作り出すためにも、求められている。これまでにない関係を思索するためには、手持ちの関係に依拠する必要がある。ダナ・ハラウェイがいうように、「何かしらの物語を伝えるためにどのような物語を語るのか」、そして「どのような物語が世界を作り、どのような世界が物語を作るのか」が重要となる。なかでもハラウェイにとっては、今日の汚染された地球で困難のなかに留まるために、親族関係を捉えなおすことが緊急の課題である。そのため彼女は、“Make Kin Not Babies!” というスローガンのもと、人間と非人間が思いもよらない形で混ざり合うような「奇妙な親族 (odd kin)」のコンポストを作り出そうと、私たちに呼びかけている [Haraway 2016]。

こうした問いかけを参考にしながら、本発表では、インド、ムンバイにおけるミドルクラス世帯の事例を検討する。インドにおける人類学的な親族研究は、近代西洋的な「自然-文化」に支えられた核家族の物語を批判する材料を提供してきた。くわえて、現代の世界各地におけるケア労働の再配置は、近代的な家族によって運営される世帯の概念に再考を迫っている。

今日のムンバイの世帯運営においては、カーストやパトロン・クライアント関係と結びついたインド的な親族のありかたと、現代的なケア労働の影響が絡み合っている。しかしその一方で、ミドルクラス世帯においては、核家族のフィクションもその重要性を保っている。あるいはむしろ、核家族の理想を追求するために、手持ちのさまざまな関係や方法を駆使しながら、新しい世帯運営を試行錯誤しているようにみえる。本発表で取り上げる事例では、30代の女性であるプリヤンカ（仮名）の語る「流動的な核（家族）ユニット (fluid nuclear unit)」というフィクションを中心に、1) 夫と息子、2) 夫と義母、3) 実母と実父というそれぞれのユニットが、相互依存しながら二つのフラットを行き来する世帯運営に巻き込まれている。プリヤンカが核家族を追求することで、ユニット間の境界は流動的なものになり、慣習的な居住形態や親族・姻族関係に捉われない実践が生み出されている。さらには、それぞれのユニットをまとめて世帯を成り立たせるためには、住み込みと通いの複数のメイドによる家事労働が不可欠なものとなっている。

本発表では、科学技術論やフェミニズムが提起するフィクションという視点を導入することで、一見ふつうの世帯運営を別様に捉えることを試みる。また同時に、日常的に作り出されている「奇妙な親族」の事例から、フィクションとしての親族をめぐる議論を深めることを目指す。

参考文献

- Carsten, Janet, ed. 2000. *Cultures of Relatedness: New Approaches to the Study of Kinship*. Cambridge: Cambridge University Press.
- Haraway, Donna. 2016. *Staying with the Trouble: Making Kin in the Chthulucene*. Durham: Duke University Press.
- Strathern, Marilyn. 2005. *Kinship, Law, and the Unexpected: Relatives Are Always a Surprise*. Cambridge: Cambridge University Press.
- Vora, Kalindi. 2015. *Life Support: Biocapital and the New History of Outsourced Labor*. Minneapolis: University of Minnesota Press.

キーワード 世帯、家事労働、親族関係、物語、インド